
過労死防止学会誌 第1号 (2020年度)

過労死等防止法制定から6年 果たして過労死・過労自殺は減少したのか—

学会誌刊行によせて 代表幹事 黒田兼一

第1部 論文・研究ノート

論文

- 佐々木 昭三 日本で過労死をなくしてゆくことと国際労働基準
川人 博 電通事件・働き方改革により、職場は変わったか？
粥川裕平 過労死防止法制定・施行から丸6年、増え続けている若者の自殺予防
～原因分析と展望～
天笠 崇 過労死等防止法制定から丸6年、ハラスメント自殺事例とその対策
～ハラスメントによる精神障害～
坂 至正 「岐阜過労死をなくす会」の設立と現在の活動について
猿田正機 トヨタシステムと労災・過労死・自死 ～40年余のトヨタ研究を振り返って～
松本実敏 コンビニ時短問題の経緯と問題点
深澤佳人 「その働き方、考えましょう」と訴えます ～A「犬咬み公務外取消」 B「損害賠償請求」C「うつ病公務外取消」 6年に及んだ3裁判の勝訴を得て～
三隅達也 全国の特定機能病院の36協定で定める医師の延長労働時間の現状と課題
伊佐地修一 公務災害訴訟、勝利までのあゆみ
宗光美千代 客室乗務員の職場の特徴、及びコロナ禍における
あらたなストレスとパワハラの実態

研究ノート

- 内藤 忍 ハラスメント関連法の改正の内容とその課題
鈴木明男 「自治体への要請行動を通じて過労死ゼロ都市宣言」を実現する取り組み
三浦 勤 市バス運転士 公災認定までの経過と報告
中村一三 トヨタ社員過労自死・労災認定裁判からの報告

第2部 報告および討論

1. 過労死等防止法制定から丸6年、果たして過労死・過労自殺は減少したのか
報告 佐々木昭三 日本で過労死をなくしてゆくことと国際労働基準
川人 博 電通事件・働き方改革により、職場は変わったか？
粥川 裕平 若者たちの自殺予防について
質疑応答
2. 過労死等防止法制定から丸6年、ハラスメント自殺事例とその対策
報告 天笠 崇 ハラスメントによる精神障害
伊佐間佳子 ハラスメントで愛する人を失った遺族の思い
水野幹男 ハラスメントによる自殺事例の裁判闘争
内藤 忍 ハラスメント関連法の改正の内容とその課題
質疑応答

第3部 資料

過労死防止学第6回大会プログラム・開催のお知らせ・5月開催予定大会プログラム
過労死防止学会 設立趣意書
過労死防止学第1回～第5回大会 プログラム
過労死等防止対策推進法(平成26年法律第100号)
過労死等の防止のための対策に関する大綱(平成27年)・(平成30年)概要抜粋
過労死防止学会 会則

過労死防止学会誌 第2号 (2021年度)

過労死根絶に向けて、現状と課題 ―ハラスメント防止と「防止大綱」再改訂―

はじめに～学会誌第2号刊行によせて 編集委員会 長井偉訓

第1部 特集 職場のハラスメント防止法を巡る国際的動向と日本の課題

大和田敢太 職場からハラスメントも過労死もなくするために

～実効力ある包括的なハラスメント規制の国際的教訓から～

イム・サンヒョク 韓国の職場内ハラスメント現象と課題

坂倉昇平 「使い潰し」の職場においてハラスメントがもたらす労働者の従属化

猿田正機 トヨタシステムと労災・過労死・自死

長井偉訓 共通論題「職場のハラスメント防止法を巡る国際的動向と日本の課題」に関する報告の論点と今後の課題

第2部 研究論文・研究ノート・その他

研究論文

高橋正也 過労死防止法制定7年、現状とこれからの課題

～過労死等を防止するにはどのような取組が必要か～

岩城 穰 過労死をなくすために、過労死防止法・大綱・協議会をどう活用するか

黒田兼一 過労死等防止対策推進法と防止対策大綱の意義と課題

川人 博 過労死研究の経過と現代の課題

研究ノート

寺西笑子 大綱再改訂への家族の想いと願い

桜井善行 「過労死防止啓発授業」を通じた生徒の意識への接近

清家智美 教員の長時間・過重労働の実態 ―教育現場からの報告と問題提起―

手島浩太・村上諒・横山智彦・土谷良樹

長時間労働による健康への影響と現状改善に向けた問題提起

寺内宏伸 過労死防止と労働時間短縮 ～週40時間制の反省～

宗光美千代 A社―Tさんの過労死問題を考える

奥平隆・生井良江 航空労働者のコロナ禍での労働変化とメンタルヘルス

坂口真澄 客室乗務員のストレスと疲労 マトリックスからの一考察

森崎めぐみ 芸能従事者の安全衛生と労働過重性の実態

村尾幸太郎 過労死と義理 ～「義理を欠く実践」はいかに可能か～

その他

本多雄二 中弱判定された精神障害(うつ病等)の治療期間の長期化と解雇問題について

長井偉訓・細川孝 特別分科会「啓発授業の現状と課題」に関する論点整理

～報告内容と討論を踏まえて～

第3部 資料

過労死防止学第7回大会プログラム

過労死防止学会第1～6回大会 プログラム概要

過労死等防止対策推進法(平成26年法律第100号)

過労死等の防止のための対策に関する大綱(平成30年) 概要抜粋

過労死等の防止のための対策に関する大綱(令和3年) 追加項目・変更ポイント抜粋

過労死防止学会 会則・会計細則・学会誌投稿規定

◇第2号 (B5判 164頁) 頒価 1,000円(送料共・税込) ・在庫有 ・注文は学会事務局まで

過労死防止学会誌 第3号 (2022年度)

新型コロナウイルス禍における長時間労働と過労死問題

はじめに～学会誌第3号刊行によせて 編集委員会 長井偉訓

第1部 特集

特集1 過労死・過労自殺の現状と課題

- 天笠 崇 共同シンポジウム座長としての発言とコメント
江口 尚 過労死、過労自殺対策における産業保健活動上の今日的課題
井上幸紀 過労死・過労自殺と関連する個人や社会の要因
清山 玲 学校教員の過労死・過労自殺の現状といま求められる働き方改革
土谷良樹 江口尚報告に対する発言とコメント
天笠 崇 井上幸紀尚報告に対する発言とコメント
色部 祐 自験例を通じての「精神障害労災認定基準」の問題点と改定の検討

特集2 COVID-19災禍と長時間労働

- 竹信三恵子 コロナ禍と女性労働～問われる「見えない過労」対策
山本民子 新型コロナウイルス禍での自治体職員の労働実態と課題
杉村和美 コロナ禍でのメディア関連フリーランスの実態と課題
吉中丈志 コロナ禍での医師労働の諸相と働き方改革
石井まこと 竹信報告・杉村報告へのコメント
早川佐知子 共通論題「COVID-19災禍と長時間労働」に寄せて

第2部 研究論文・その他

- 寺内宏伸 (仮説と検証) 三六協定制は米国公正労働基準法に由来するか？
中寫清美 過労死家族と過労死被害
本多雄二 過労死ゼロ社会の構築に向けた
過労死等防止対策ホームページの統一的基準の提案
奥平 隆 『コロナ禍』における航空労働者の実態と課題
～現場労働者の急激なストレス増加についての調査と考察～
大塚泰正・永野惣一・原恵子・堀内泰利・中村准子・岡田昌毅・奥平隆・生井良江・酒井三枝子・
渡辺佳子・坂口真澄 国内航空会社勤務の客室乗務員のストレスとその対処
宗光美千代 客室乗務員の現状と国際比較、労災等について
岡村晴美 ハラスメントを構造から理解する～パワーハラスメント、いじめ、DV
尾林芳匡・白神優理子・中江奈津子 海外勤務者の過労死 現状と課題
森崎めぐみ 文化芸術・芸能分野のハラスメントの実態と課題
坂下史生 教育現場におけるペーパーワークと長時間労働
長井偉訓 [書評]ジェフリー・フェファー著『ブラック職場があなたを殺す』

第3部 資料

- 過労死防止学第8回大会プログラム
過労死防止学会第1～7回大会 プログラム概要
過労死等防止対策推進法(平成26年法律第100号)
過労死等の防止のための対策に関する大綱(平成30年) 概要抜粋
過労死等の防止のための対策に関する大綱(令和3年) 追加項目・変更ポイント抜粋
過労死防止学会 会則・会計細則・編集委員会規程

◇第3号〈B5判 173頁〉頒価 1,000円(送料共・税込) ・在庫有 ・注文は学会事務局まで

過労死防止学会誌 第4号 (2023年度)

はじめに～学会誌第4号刊行によせて 編集委員会 天笠 崇

第1部 特集 地方公務員の長時間過密労働とその対策

- 山口真美 地方公務員の長時間労働 ～労基法33条問題と特例業務
上林陽治 会計年度任用職員の公務災害補償 ―死んでからも非正規なのか―

第2部 研究論文・その他

- 竹島 正 地域の自殺予防・自死遺族支援の視点からみた過労死・過労自殺の予防
川人 博 労働者協同組合における過労死が問いかけるもの
―斎藤幸平氏の労働者協同組合賛美論・社会運動論を批判する―
土谷良樹 医師意見書(心臓・脳疾患による突然死など)の記載について
田中與念子 医師の長時間労働と働き方改革 ―日本の医療の未来―
奥平 隆 係争中の航空機客室乗務員(CA)労災認定をめぐる論点について
森崎めぐみ・佐藤大和・加藤みはる・高橋幸美
芸能従事者の労災と安全衛生の現況と課題解決の取り組み
長井偉訓・高橋幸美・久保直純・中川香代
高知大学における「過労死等防止啓発授業」の実践事例の紹介
櫻井善行 過労死等防止啓発授業の実践を振り返って
～4年間の実践から見えてきたものと5年目以降の課題～
寺内宏伸 過労死と2024年問題について
長井偉訓 [書評]妹尾昌俊・工藤祥子著『先生を、死なせない。―教師の過労死を防ぐために、
今、できること』教育開発研究所, 2022年
本多雄二 労災隠しの実態と労災指定医療機関の問題、精神障害の労災認定について

第3部 資料

- 過労死防止学会 第9回大会プログラム
過労死防止学会 第1～8回大会 プログラム概要
過労死等防止対策推進法(平成26年法律第100号)
過労死等の防止のための対策に関する大綱(平成30年) 概要抜粋
過労死等の防止のための対策に関する大綱(令和3年) 追加項目・変更ポイント抜粋
過労死防止学会 会則・会計細則・編集委員会規程

◇第4号 (B5判 121頁) 頒価 1,000円(送料共・税込) ・在庫有 ・注文は学会事務局まで